

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

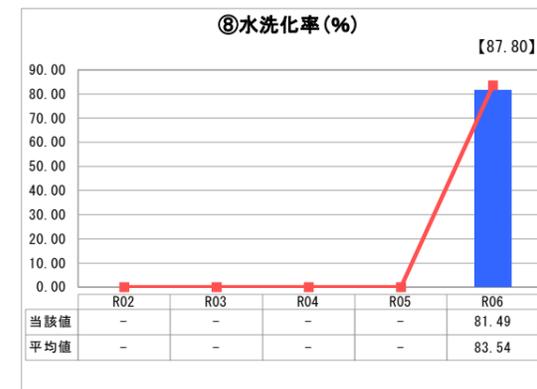
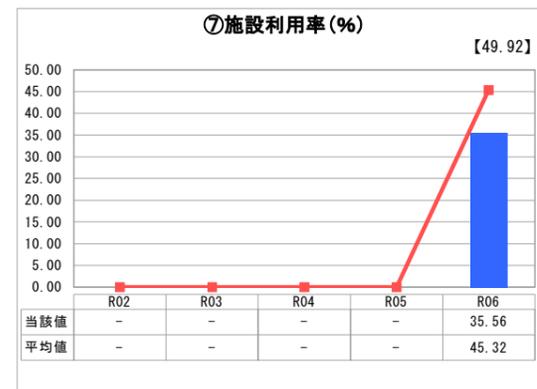
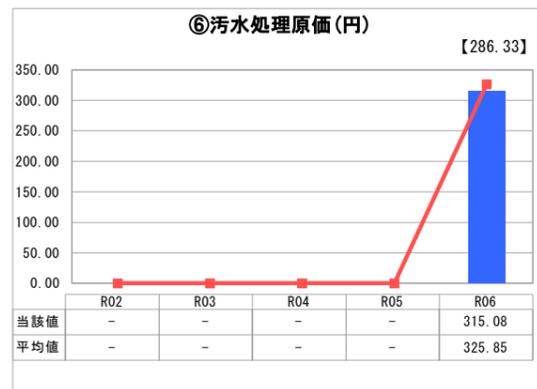
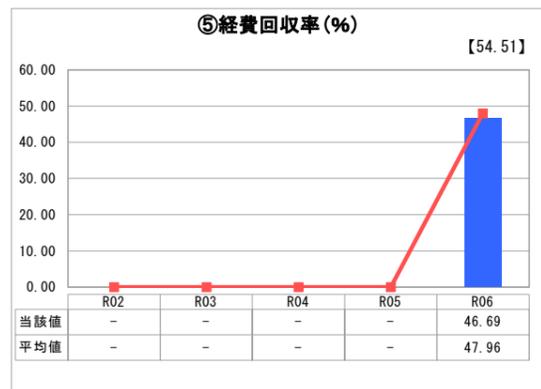
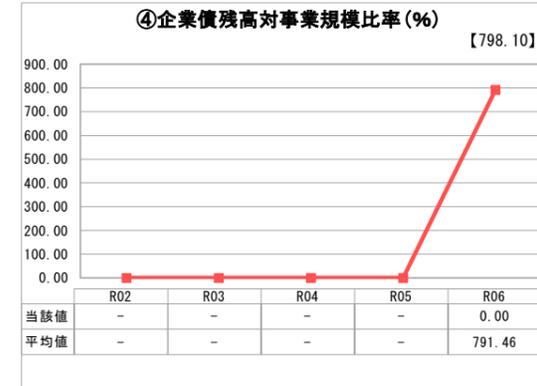
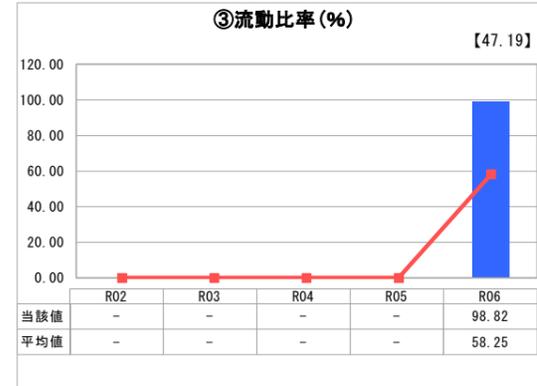
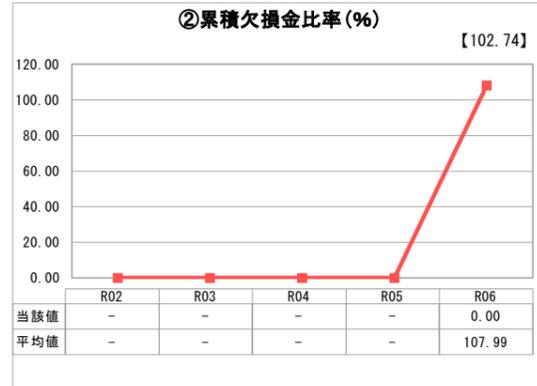
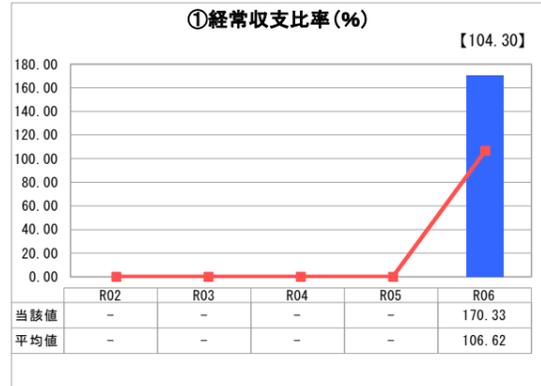
香川県 まんのう町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	91.44	2.60	100.00	3,039

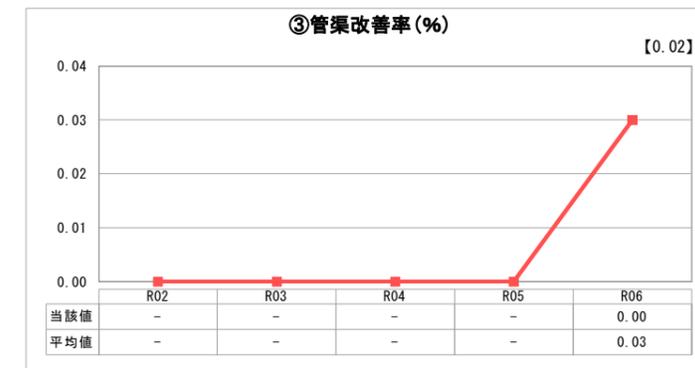
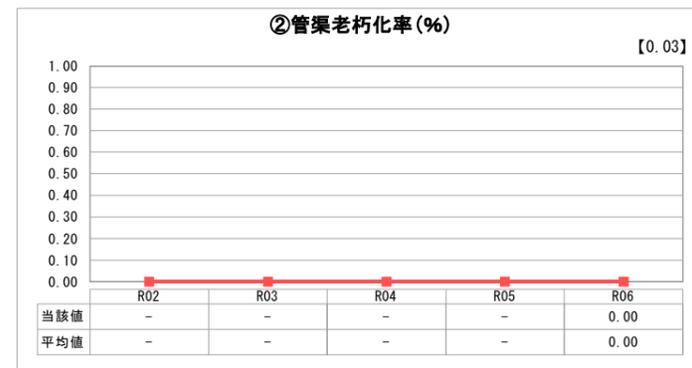
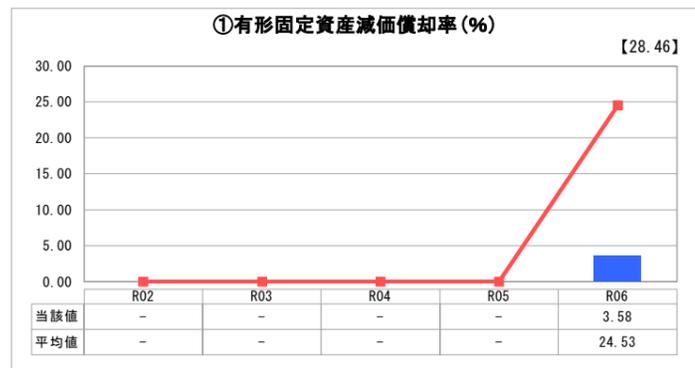
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,116	194.45	88.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
443	0.36	1,230.56

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%を超えているが、当初予定していた設備の修繕が実施されなくなったことが要因である。収入の多くを一般会計からの繰入に頼っており、収入増加の取組が必要である。  
流動比率についても、経常収支比率と同様の理由で、当初予定していた修繕が実施されなかったことが要因である。  
経費回収率は、概ね平均値となっているが、100%を下回っており、収入の改善が必要である。  
汚水処理原価は、概ね平均値となっており、今後も動向を注視していく。  
水洗化率は、8割程度となっており、今後の人口減少を考えると厳しい状態である。区域内の農集接続について周知を進める。

### 2. 老朽化の状況について

処理場である長炭中部クリーンセンターは、平成10年度に竣工している。施設の故障も徐々に増えていることから、今後は維持修繕費用が増加していくと予想される。修繕費用削減のため、計画的に修繕工事を実施する必要がある。

### 全体総括

今後は収入の減少・修繕費用の増加が予想され、経営は厳しい状況である。計画的な維持修繕によりコストを削減するとともに、収入増加の取組も必要である。下水道への接続についても検討し、機能を維持していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。